



生活保護改悪法案を永久廃案に！と参院選前緊急集会に集まった市民＝3日、東京都新宿区

生保改悪 永久廃案に

市民団体 参院選前の緊急集会

東京

「生活保護制度改悪 関連2法案の国会提出を許さない」。貧困問題に取り組む人たちがつくる「STOP! 生活保護基準引き下げ」アクションは3日、東京都内で集会を開き、命を脅かす政治を変えるために声をあげることを確認しました。

先の国会で廃案となった同法案は、衆院では自民、公明、民主、維新、みんな、生活の各党の賛成多数で可決され、安倍政権は、参院選後の再提出をねらっています。

さらに安倍政権が閣議決定した「胃太の方針」は生活保護費を突破口に、医療・年金・介護など社会保障費全体の削減を盛り込んでいます。全国生活と健康を守る会連合会の辻清二副会長は、生活保護法改悪法案について「国の責任を投げ捨て利用者

に自己責任を押し付けるもの。修正法案もこの性格を変えるものではない。最後まで廃案を求めてたかう」と表明しました。全国公的扶助研究会の渡辺潤事務局長は「関連法案が成立すれば、生活保護から利用者・申請者を徹底的に追い出し、餓死・孤立死が続出しかねない」と指摘しました。

生活保護基準の引き上げを求めた朝日訴訟を承継した朝日健二さんも参加。「修正案を出し、どたばたと法案を通そうとした民主が許せない」と強調し、「私が参考人として訴えた衆院で同法に反対したのは共産党だけ。参院選でも、共産党の議席を増やしたい」と述べました。

東京都板橋区の藤井豊味さん(51)は子どもたちのころに父親の会社が倒産し、生活保護を利用していました。「参院選後に再提出させないよう、周りの人に呼びかけています」